

佐賀県農業信用基金協会

1 佐賀県の紹介

佐賀県は、九州の北西部に位置し、東西・南北とも約74kmと狭く、面積は約2,400km²で全国42位です。

北はリアス式海岸と砂浜の玄界灘、南は干潟・干拓地の有明海という2つの海に囲まれ、中央には広大な佐賀平野が広がっています。

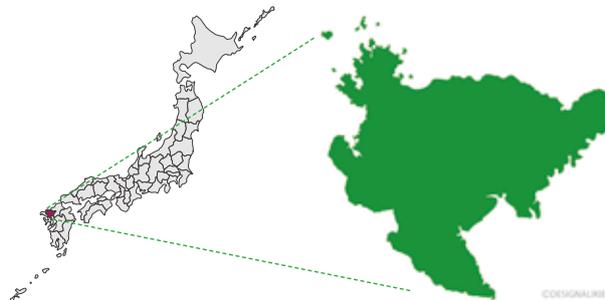
その自然豊かな環境で、全国有数のブランド米である「さがびより」「夢しずく」のほか「さがほのか」「いちごさん」の苺栽培が盛んに行われています。

海産物では玄界灘で取れる呼子のイカが有名で、その活き造りや天ぷらは季節に関係なく美味しく頂けます。

有明海は全国有数の海苔養殖の産地であり、最高級品海苔の「佐賀海苔有明海一番」は、全国に販売され人気を誇っています。

観光面では、空の玄関口である「九州佐賀国際空港」は、羽田の他、ソウル・上海・台北との路線もありインバウンドにも貢献しています。

春には「有田陶器市」や「ガタリンピック」、秋には「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」や日本三大くんちの1つである「唐



津くんち」が開催されており、「吉野ケ里遺跡」や「名護屋城跡」、「祐徳稲荷神社」も必見です。

また、48年ぶりに佐賀で国スポ、全障スポが開催され大いに盛り上がりました。



佐賀バルーンフェスタ
(写真提供：佐賀県観光連盟)

2 佐賀県の農業について

耕地面積は、県の総面積の20%にあたる49,900haであり、うち8割を占める田においては、二毛作（夏期に米・大豆、冬期に麦・玉ねぎ）が盛んに行われ、田畑の耕作利用率は134%（令和4年）と37年連続で全国1位となっています。

令和4年の農業産出額は1,307億円と全国24位となっています。



さがびより
(写真提供：佐賀県)

米が229億円（17.5%）、玉ねぎ・いちご・レンコンなどの野菜が415億円（31.8%）、肉用牛・豚・ブロイラーなどの畜産が363億円（27.8%）、みかん・梨など果実が183億円（14.0%）となっています。

特に「佐賀牛」は2000年にブランド牛として商標登録され、高い評価を得ており、近年は、香港・タイ・シンガポール・米国などの海外にも積極的に輸出されています。



いちご (いちごさん・さがほのか)
(写真提供: 佐賀県観光連盟)



たまねぎ
(写真提供: 佐賀県観光連盟)



佐賀牛
(写真提供: 佐賀県観光連盟)



呼子のイカ
(写真提供: 佐賀県観光連盟)

3 佐賀県農業信用基金協会の概要

当協会は、理事12名（うち常勤1名）、監事3名の役員15名。職員は、17名で、総務課、審査課、管理課の3課体制による業務運営を行っています。



4 佐賀県農業信用基金協会の活動

令和5年度保証引受は203億円で前年度比70%、金額で85億円の大幅な減少となりました。農業資金の約6割を占める素牛導入資金及び生活資金の約8割を占める住宅ローンが落ち込んだことが原因です。

令和5年度末保証残高（実残）は期首より約8億円少ない1,700億円、農業資金195億円（12%）、住宅ローン1,407億円（83%）となりました。

各種研修会、会議等の開催はコロナ前に戻ってきており、債務保証事務研修会、JAごとの保証事業推進会議、ローンセン

ター巡回等を通じ農業者等の多様な融資・保証需要に迅速かつ的確に応えられるよう取り組んでいます。

また、全国統一保証審査システムは令和5年9月（第2次）に生活資金を対象として稼働し、令和6年7月から農業資金を含め本格稼働しました。これまで大きなトラブルはありませんが、引き続き安定運用に向けた体制整備に取り組み、利用者の利便性の向上、事務の効率化等、導入効果が発揮できるよう努めていきたいと考えています。